

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301122	生徒指導論 Guidance and Counselling	山田 陽平	専門	2	選択	2年 後期
<b>科目の概要</b>						
生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。本科目では、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 教育課程における生徒指導の位置付けを学ぶ。 ② 各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を学ぶ ③ 集団指導・個別指導の方法原理を学ぶ。 ④ 生徒指導体制と教育相談体制それぞれの基礎的な考え方と違いを学ぶ。 ⑤ 学級担任、教科担任その他の校務分掌上の立場や役割並びに学校の指導方針及び年間指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を学ぶ。 ⑥ 基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を学ぶ。 ⑦ 児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を学ぶ。 ⑧ 校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を学ぶ。 ⑨ 暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を学ぶ。 ⑩ インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を学ぶ。			① 教育課程における生徒指導の位置付けを理解している。 ② 各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解している。 ③ 集団指導・個別指導の方法原理を理解している。 ④ 生徒指導体制と教育相談体制それぞれの基礎的な考え方と違いを理解している。 ⑤ 学級担任、教科担任その他の校務分掌上の立場や役割並びに学校の指導方針及び年間指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解している。 ⑥ 基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解している。 ⑦ 児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。 ⑧ 校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解している。 ⑨ 暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。 ⑩ インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>			<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>			
前に踏み出す力	主体性	必須の資料以外の情報(特に、書籍、論文)にアクセスする。				
	働きかけ力					
考え抜く力	実行力	書かれていることや人の話を鵜呑みにするのではなく、ほんとうにそうなのか検証する。				
	課題発見力	よりよい生徒指導を行うために知らなければならない発達的問題を挙げる。				
チームで働く力	計画力					
	創造力	複数の文献を読み、よりよい生徒指導のあり方を考える。				
チームで働く力	発信力	良質な情報を見極め、自分の言葉で再構築し、適切な表現で他者に伝える。他者が理解できない場合は表現を柔軟に変更して再トライする。				
	傾聴力	好き嫌いや気分に関係なく、他者の考えを丁寧に聞く。適当な質問をして他者の考えを引き出す。他者の意見を認める。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	本授業では他者と協調することが求められるため、協調しようと努力することを規律とする。協調は仲良くすることと同義ではない。本授業で求められている課題に対して共に協力してよりよい成果を出すことを指す。すなわち、根拠をもって自分の意見を提示し、他者の意見や気持ちに配慮し、一緒によりよい解を作り上げることを指す。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 生徒指導提要 文部科学省 教育図書 参考文献: 新しい生徒指導の手引き 諸富祥彦 図書文化						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連: 教育心理学, 発達心理学, 教育相談 資格との関連: 中学校教諭一種免許状(家庭)・高等学校教諭一種免許状(家庭)・栄養教諭免許状						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
とにかく多くの文献を読むことを求める。難しいと言ってすぐにあきらめるのではなく、何度も読む、わかるところがないかを探す、他の文献にトライするなど、理解するためにやれることをすべて実行してもらいたい。			予習としてテキストを読んでくることを前提に授業を展開する。教職科目であることをから、原則として、1回の欠席も認めない。万が一欠席する場合は事前に担当者まで連絡をした上で、自分で補習を行いその証拠を示すこと。特別な事情による欠席については補習で代える。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	20	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	到達目標に応じたレポート課題を課す。 ・生徒指導の意義や原理を理解しているかを評価する(①から④に対応)。 ・すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解しているかを評価する(⑤から⑦に対応)。 ・児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解しているかを評価する(⑧から⑩に対応) レポートを提出しない場合は不可とする。
成果発表 (口頭・実技)	70	① ✓ ② ✓	・新聞課題 14 点(1 回 1 点×14 回) 新聞課題は、授業の始めに持ってこられていない場合は 0 点とする。 ・予習課題 14 点(1 回 1 点×14 回) ・復習課題 42 点(1 回 3 点×14 回) 予復習課題の遅刻提出は認めない。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ② ③ ④ ⑤	以下の七つの観点それぞれに対して、15 週を通して観察し、評価する。 ・必須の資料以外の情報(特に、書籍、論文)にアクセスしている。(主体性) ・書かれていることや人の話を鵜呑みにするのではなく、ほんとうにそうなのか検証している。(実行力) ・よりよい生徒指導を行うために知らなければならない発達的問題を挙げている。(課題発見力) ・複数の文献を読み、よりよい生徒指導のあり方を考えている。(創造力) ・良質な情報を見極め、自分の言葉で再構築し、適切な表現で他者に伝えている。他者が理解できない場合は表現を柔軟に変更して再トライしている。(発信力) ・他者の考えを丁寧に聞いている。適当な質問をして他者の考えを引き出せている。他者の意見を認めている。(傾聴力) ・他者と協調している。(規律性)
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
以下の 3 点をすべて説明でき、かつ欠席 0 回及びすべての課題を期限までに提出していれば A とする。これを満たさない場合は B 以下とする。 ・生徒指導の意義や原理 ・すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方 ・児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方  これに加えて、指定する資料以外の文献を多分に参照していれば S とする。	以下の 3 点をすべて説明できる。 ・生徒指導の意義や原理 ・すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方 ・児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	生徒指導の意義と原理(1) ・生徒指導の意義と課題 ・教育課程における生徒指導の位置付け ・生徒指導の前提となる発達観と指導観	講義 グループ討議	生徒指導の意義と原理を説明できる。	予習:テキスト第1章第1節から第3節までを読んでくる。 復習:課題に回答する。 予復習課題の内容は到達レベルC(可)の基準に書いてあるものを基本とし、進行状況にあわせて適宜追加修正を指示する。 15週まですべて同様とする。	60	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	生徒指導の意義と原理(2) ・集団指導・個別指導の方法 原理 ・学校運営と生徒指導	講義 グループ討議	生徒指導の意義と原理を説明できる。	予習:テキスト第1章第4節から第5節までを読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	教育課程と生徒指導	講義 グループ討議	教育課程における生徒指導の位置付けを説明できる。	予習:テキスト第2章を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	児童生徒の心理と児童生徒理解	講義 グループ討議	児童生徒の心理的特徴と児童生徒を理解する方法を説明できる。	予習:テキスト第3章を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	学校における生徒指導体制	講義 グループ討議	学校における生徒指導体制を説明できる。	予習:テキスト第4章を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

6週 /	教育相談(1)	講義 グループ討議	教育相談体制の基本的な考え方と生徒指導との違いを説明できる。	予習:テキスト第5章を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	教育相談(2): 構成的グループ・エンカウンター	講義 グループ討議	児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。	予習:生徒指導提要pp.107-109, 配付資料を読む。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	生徒指導の進め方(1) 児童生徒全体への指導	講義 グループ討議	すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を説明できる。	予習:テキスト第6章「I 児童生徒全体への指導」を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	生徒指導の進め方(2) 個別の課題を抱える児童生徒への指導	講義グループ討議	児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態を説明できる。	予習:テキスト第6章「Ⅱ個別の課題を抱える児童生徒への指導」を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	いじめ(1) 「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版からいじめの現状を学ぶ。	講義グループ討議	「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版の結果をもとに、いじめの現状について説明し、そのデータに基づいて考えられるいじめの対応について述べるができる。	予習:「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版から「いじめの結果」を読み取ってくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	いじめ(2) 出身校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめの対応の三つのポイントである未然防止、早期発見、措置(早期対応)とは何をすることなのかを学ぶ。加えて、他校との共通点、相違点について学ぶ。	講義グループ討議	出身校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめの対応の三つのポイントである未然防止、早期発見、措置(早期対応)を説明できる。加えて、他校との共通点、相違点について説明できる。	予習:「いじめ防止対策推進法」を読んでくる。出身校の「いじめ防止基本方針」を読み、いじめの対応の三つのポイント(未然防止、早期発見、措置)ではそれぞれ何を必要があるかをまとめてくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	不登校(1) 「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版から不登校の現状を学ぶ。	講義グループ討議	「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版の結果をもとに、不登校の現状について説明し、そのデータに基づいて考えられる不登校の対応について述べるができる。	予習:「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の最新版から「不登校の結果」を読み取ってくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	不登校(2) 不登校の対応として、不登校になってしまったからの対応よりも、未然防止や初期対応が重要であることを学ぶ。	講義グループ討議	なぜ不登校になってからの対応では足りないのか。なぜ不登校になる前の対応が必要なのかを説明できる。根拠となる情報を資料から正確かつ丁寧に引用し、加えて不登校になる前の対応についての例を挙げることができる。	国立教育政策研究所発行の以下の資料を読み、不登校の問題を解決するためには、未然防止や初期対応が重要である根拠を読み取る。資料①「不登校・長期欠席を減らそうとしている教育委員会に役立つ施策に関する Q&A」、資料②「生徒指導リーフ Leaf.14 不登校の予防」 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	生徒指導に関する法制度等	講義グループ討議	生徒指導に関する法制度等を説明できる。	予習:生徒指導提要第7章を読んでくる。 復習:課題に回答する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	学校と家庭・地域・関係機関との連携	講義グループ討議	学校と家庭・地域・関係機関との連携を説明できる。	予習:生徒指導提要第8章を読んでくる。 復習:課題に回答する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力